

平成 29 年度 第 1 回 社会貢献委員会

1. 招集年月日 平成 29 年 6 月 29 日 (木)
2. 開催日時 平成 29 年 7 月 05 日 (水) 午後 2 時 00 分
3. 開催場所 東北遊技機商業協同組合会議室
4. 委員数 8 名
5. 出席委員氏名 杉本信夫、木幡士朗、伊藤樹里、林 義信、東海良弘
大久保康二、大野一真
6. 議長の氏名
委員長 杉本信夫 (委員会規約第 5 条第 4 項)
7. 委員会の成立
7 名出席により成立 (委員会規約第 9 条)
8. 議事の経過の要領及び議案別の議決の結果

第 1 号議案 7 月 3 日開催・全商協平成 29 年度第 2 回社会貢献委員会 (TV 会議) 結果について

(1) 鎮守の森のプロジェクト植樹祭について

費用負担の面で、本年 5 月 26 日の千年希望の丘植樹祭をもって一区切りするとされたものであるが、8 月 11 日に南相馬市草取りツアー、10 月 14 日に南相馬市植樹祭が開催されるが、全商協として引き続き植樹祭に参加するかどうかについて検討がなされ、8 月 11 日の南相馬市草取りツアーはお盆入りの時期で日程的に無理ではないかの意見があった。また、全商協として参加するにしても予算措置の面で理事会の承認が必要であるとの意見があり、参加の是非の前に、予算措置が可能かどうか、次回の理事会に上程するものとした。

(2) オレンジリボン運動の市民集会について

本年 11 月 19 日 (日) に「子どもの虐待死を悼み命を讃える市民集会」が開催されるが、今年も昨年に引き続き参加するからどうかについて検討がなされ、本件も予算措置の面で理事会の承認を必要とすることから、全商協持ちで参加する意見を理事会に上程するものとした。

(3) 献血活動について

各地区遊商で実施している献血活動を、全商協の冠を付け集約して実施しようとするものであるが、献血に協力した人に何かお礼をするための予算組みをするため理事会に上程すべきではないかの意見がなされた。結論として、もう少し時間をかけて検討した結果を理事会に上程するものとした。

(4) その他

委員長より、地区遊商の社会貢献活動について、全商協としてアピールしたいので、是非、全商協旗を掲げた写真と一緒に結果報告していただいた旨の要請がなされた。

第2号議案 社会貢献委員会・事業活動及び予算について

委員長より、平成29年度「活動事業計画及び予算計画」について、下表のとおり説明がなされた。

No.	実施年月	名 称	所要額	備考
1	平成29年5月27日	全商協・鎮守の森プロジェクト植樹祭→不参加	0	
2	平成29年8月11日	全商協・南相馬市 草取りツアー（育樹祭）→不参加予定	0	
3	平成29年9月23日	「広瀬川1万人プロジェクト」清掃活動（回胴遊商合同）	300,000	
4	平成29年10月14日	全商協・南相馬市 植樹祭→未定	80,000	
5	平成29年12月	献血活動強化月間の実施	0	
6	平成30年01月	全商協・オレンジリボン支援グッズ購入→28年度実施せず [※]	0	
7	平成30年03月	児童養護施設寄付金（34施設）	3,400,000	予算措置済
		青森県（6施設）	(600,000)	
		秋田県（4施設）	(400,000)	
		岩手県（6施設）	(600,000)	
		宮城県（5施設）	(500,000)	
		山形県（5施設）	(500,000)	
8	平成29年04月 ～ 平成30年03月	福島県（8施設）	(800,000)	
8	平成29年04月 ～ 平成30年03月	公益法人協賛金等（12法人）	580,000	予算措置済
		青森県防犯協会連合会	(50,000)	
		青森県暴力団追放推進センター	(40,000)	
		岩手県防犯協会連合会	(50,000)	
		岩手県暴力団追放推進センター	(40,000)	
		宮城県防犯協会連合会	(50,000)	H29.6.21
		宮城県暴力団追放推進センター	(50,000)	
		秋田県防犯協会連合会	(50,000)	
		秋田県暴力団壊滅県会議	(50,000)	
		山形県防犯協会連合会	(50,000)	H29.6.6
		山形県暴力団追放推進センター	(50,000)	
		福島県防犯協会連合会	(50,000)	H29.6.21
福島県暴力団追放推進センター	(50,000)			
9	平成30年03月	公益法人寄付金（3法人）	300,000	
		宮城県防犯協会連合会	(100,000)	
		宮城県暴力団追放推進センター	(100,000)	
		宮城県犯罪被害者支援センター	(100,000)	
合 計			4,660,000	
10		災害対策積立金	予算措置額 0	前年度末積立額 600万円

第3号議案 RSN 支援室（5月）の活動状況等について

事務局より、5月の支援室の活動状況について、支援室への問合せ件数が68件、沖縄は382件で総数450件、沖縄が話し中で繋がらなかった件数が5件、繋がらないとの苦情が2件であったこと。及び主な問合せ内容について説明がなされた。

この中で、「5月15日に宮城県警生活安全課の方より新聞の折り込み広告のチラシにRSNの事が掲載されていますが、これは依存の事を相談するところですかとの問い合わせがあり、そのとおりです。詳しくは沖縄の事務局へお問い合わせを頂きますでしょうかとご案内を致しました。」の説明に触れ、RSN支援室について、警察庁では認知されているが、各県警での認知度が低いのではないかの疑問

を呈し、行政側の認知度を高めることも含め、東北遊商として在庫のRSNパチンコ依存症防止活動啓蒙ティッシュの街頭配付活動を行い内外にアピールすることはどうかの討議がなされ、引き続き次回委員会で検討して行くものとした。

第4号議案 その他

今後の活動予定等について次のとおり確認がおこなわれた。

- (1) 9月実施予定の回胴遊商との合同「広瀬川1万人プロジェクト」清掃ボランティア活動について、来月回胴遊商と合同打合せの予定であること。その後当委員会で担当役割を決めたいと思っている。
- (2) 10月東北で実施予定の「全商協会長杯チャリティーゴルフコンペ」に向けての準備について、全商協主催であることから、高橋理事長からの社会貢献委員会に対する具体的な指示に従い対応するものとし、前夜祭イベントの対応を任された場合は、前回好評であった三味線演奏が良いのではないかの意見がなされ、社会貢献委員会の意見とするものとした。
- (3) 木幡副委員長より、社会貢献委員会の新しい活動として、募金活動の取り組みについて提案がなされた。具体的には、理事会、各種委員会、総会等の会合の際に募金箱を設置し募金を募り、回胴遊商等との合同活動も視野に入れ、児童養護施設や高齢者施設に対する寄付慰問を企画して行こうとするもので、社会貢献委員会の総意として理事会に上程することとした。

以上をもって、午後4時20分、委員会を終了した。